

市も「富士山火山監視カメラモニター」で監視

国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所と山梨県県土整備部から富士山火山監視映像データの提供を受け、富士山火山対策室に常時観測可能なモニターを設置し、いち早く火山現象を捉え、避難体制がとれるよう監視しています。

モニター画像提供：山梨県県土整備部



避難などの情報を発信するさまざまな手段を用意

市からの避難情報や気象庁の噴火警報などは防災行政放送やホームページなどで発信しますが、東日本大震災時には震災直後からその後にかけて防災行政無線が利用できなくなった市町村も数多くありました。災害時には何が起こるか分かりません。いざという事態に備え、市などからの情報を受け取れるように、複数の情報受取手段を平常時からご準備ください。

富士吉田防災ラジオ

災害時は停電などにより携帯電話などが使えなくなることもあります。市では本年度から3年間で全世帯へ無償で配備する計画です。機能など詳しくは市のホームページをご覧ください。

【主な特徴】

- ①避難情報などの緊急放送、防災ふじよしだなどの一般放送を聞くことができます。
- ②緊急放送や一般放送など約10分間録音でき、聞き逃しを防げます。
- ③電池でも使用でき、はがきサイズの大きさで持ち運びもできます。



市ホームページ

富士吉田市安心安全メールマガジン

防災行政放送の内容をメールで配信しています。市外にいて放送を聞けなかったなどの聞き逃しを防げます。詳しい内容や登録方法は市のホームページや広報5月号(P22)をご覧ください。



市ホームページ

富士吉田市公式防災アプリ

QRコードからまたはアプリの検索で「富士吉田市公式防災アプリ」と入力し、ダウンロードしてください。

【主な配信情報】

防災情報、避難情報、防災ふじよしだ、避難所一覧、ごみ出し情報、おくやみ、学校給食献立 など

Androidをお使いの方



iPhoneをお使いの方



富士山ハザードマップが改定されました!!

～ 富士山噴火を正しく知り、備えにつなげるために ～

報告書など
山梨県ホームページ



富士山ハザードマップ
山梨県ホームページ



問合せ■富士山火山対策室 ☎内線251

監修■山梨県富士山科学研究所 主幹研究員
富士山火山防災研究センター 吉本 充宏 センター長

第3回

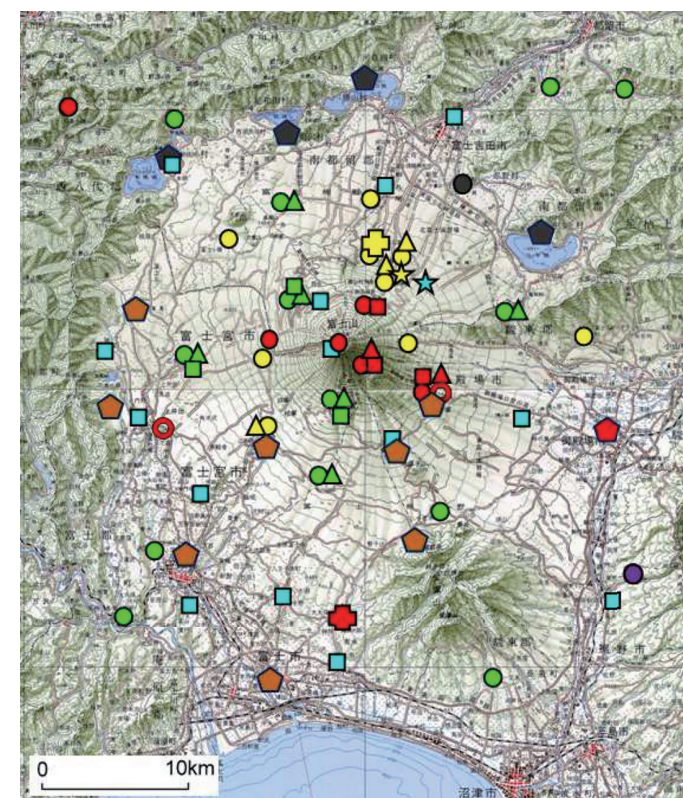
6月号の「基本編・溶岩流編」、7月号の「火砕流・融雪型火山泥流ほか編」では富士山ハザードマップの改定内容などを掲載しました。富士山の噴火対策は市をはじめ、関係機関などでさまざまな対策が行われ、進められています。今月号では「総合対策編」として、富士山噴火への対策や取り組みなどを紹介します。

総合対策編

火山活動の観測・監視体制 — 気象庁では24時間体制で監視 —

富士山では火山活動の前兆や異常をいち早く捉えるため、普段からさまざまな機関により観測機器などで監視・観測が行われています。

気象庁では噴火の前兆を捉えて噴火警報などを発表するため、富士山周辺の観測施設を利用し、火山活動を24時間体制で監視しています。



【観測している機関】

気象庁
防災科学技術研究所
東京大学地震研究所
国土地理院
山梨県・富士山科学研究所
神奈川県温泉地学研究所
国土交通省中部地方整備局

【観測項目】

○ 地震計 (地震観測) 火山性地震や微動をとらえる	
△ 傾斜計 □ GNSS + ひずみ計 (地殻変動観測) 地面の動きを計り、マグマの移動をとらえる	
☆ 全磁力計 地下の熱をとらえる	
◎ 空振計 噴火に伴う音波をとらえる	
◇ 遠望カメラ 噴煙などをとらえる	

富士山の火山観測点

図：富士山火山広域避難計画から